

会 議 録

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	企画政策課
会議名 (審議会等名)	第12回 嬉野市塩田庁舎等利活用検討委員会		
開催日時	令和6年12月18日(水) 14:00~16:00		
開催場所	嬉野市役所(塩田庁舎) 3-2会議室		
会議の公開可否	☑・不可・一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可 の場合はその理由			
出席者	委員	渡利委員長、坂口委員、永田委員、久野委員、尾形委員、宮崎委員、中島委員、前田(直)委員、森(憲)委員、田中委員、諸岡委員	
	事務局	総合戦略推進部長(小野原)、企画政策課長(松本)、同課庁舎整備推進室長(笠原)、同室副課長(奥山)、同室主任(池田)、同室主事(島村)、同室主事(中尾)、総務・防災課主任(辻)	
	その他	東亜建設技術株式会社(3名)	
会議の議題	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート式サウンディング調査の結果 ・広域的な施設機能の再編についての考察 ・本事業の実現化に向けた事業手法(発注方式)について 		
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・第12回塩田庁舎等利活用検討委員会資料 		
審議等の内容	別紙のとおり		

審 議 等 の 内 容

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	企画政策課
議 題	嬉野市塩田庁舎等利活用検討委員会 (第12回)		
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート式サウンディング調査の結果 ・広域的な施設機能の再編についての考察 ・本事業の実現化に向けた事業手法(発注方式)について 		
審議経過	事務局	<p>皆さん、こんにちは、本日はお忙しい中お集まり頂きまして、誠にありがとうございます。只今から第12回嬉野市塩田庁舎等利活用検討委員会を開会します。</p> <p>次第2 委員長の挨拶、渡利委員長お願いいたします。</p>	
	委員長	<p>皆様、こんにちは。年末のお忙しい中に参加、ありがとうございます。本日も忌憚のないご意見を賜ればと思いますので、宜しくお願いいたします。</p>	
	事務局	<p>次第3 検討事項になります。渡利委員長、よろしくをお願いいたします。</p>	
	委員長	<p>では、本日の協議事項については次第に書いてありますように、初めにアンケート式サウンディング調査の結果について、事務局の方に説明をお願い致します。</p>	
	事務局	<p>【事務局による説明】</p>	
	委員長	<p>サウンディングというのはなかなか聞きなれない言葉だと思いますが、事前に事業に対して「このようなことはお話になるだろう」という打診で、結果が返ってきたというところです。右側に「実施可能な事業・サービス」と左側に「関心のある事業」、これらに対して、回答が書いてあります。いずれにしても、何らかの形でこの塩田庁舎の利活用について関心があって、「何かが出来そうですね」という結果でございます。よろしいですか。PFIとかPPPというのは聞きなれない言葉だと思いますが、PFIが先ほど事務局の説明にあったように、公的な事業を民間の活力を使って実施するという形で、PPPの中にPFIも含まれていますが、PPPというのは「パブリック・プライベート・パートナーシップ」(Public-Private Partnership)というものです。よろしいですか。ちょっと報告する形で受け止めて頂いて、皆様のアイデアを実現化する時は行政単独ではなくて、こういった「民間を活用する方法もありますよ」というサウンディングアンケートも行ったということでございますので、そのようなイメージを頭に入れて頂いて、今後委員会の中に「行政だけでは難しいのではないか」「もしかしたら企業を使ったほうがいいんじゃないか」という意見が出てくればいいのではないかと思います。よろしいですか。ここはこのような形です。では、続きまして、広域的な施設機能の再編についての考察を事務局の方に説明をお願いいたします。</p>	
	事務局	<p>【事務局による説明】</p>	
	事務局	<p>先ほどの説明について少し補足説明があります。指定管理について、2ページから、楠風館は令和7年から令和9年度までは指定管理になりますので、令和10年度からいろいろ、例えば「観光施設にいいんじゃないですか」といったような検討ができますので、そこら辺の議論は自由にして頂いて、施設再編の中でいろいろが出来るという考え方で、協議をして頂きたいと思っております。</p>	

	<p>令和10年度から、機能など、いろんな縛りが外れますので、検討して頂きたいと思います。</p>
委員長	<p>令和10年度からということで、事務局からの説明をご理解頂ければと思います。では、只今の説明に対して、質問があればよろしくお願いします。</p>
委員	<p>中央公民館の機能について整理がありました。が、「放課後児童クラブ」の記載はあっていないんです。「放課後児童クラブ」は小学校の中に設置してありますので。「あさがお」はありますが、「あさがお」は、詳しく説明しますと、適応指導教室とあって、不登校の子どもが行くようなところで、家と学校の手前というか、「あそこだったら行ける」というところなんです。なので、「放課後児童クラブ」ってないんでいいんですが、最後の3ページには「あさがお」を載せて頂いたんで、「放課後児童クラブ」がいないと思います。</p>
委員長	<p>以上の訂正を踏まえた上で、ご意見等がありましたらよろしくお願いします。今回は今までの委員会の内容を整理して、このような配置は合理的、「このような形はありますよ」ということです。</p>
委員	<p>今は「放課後児童クラブ」の話ですが、実は公民館の主催で、「嬉野元気っ子クラブ」、児童の居場所というのがあって、これは毎日ですか。週何回ですかね。</p>
事務局	<p>毎日ではないです。</p>
委員	<p>毎日ではないんですね。「あさがお」は毎日ですか。</p>
委員	<p>毎日です。</p>
委員	<p>詳しく説明して、よくまとめて頂いていると思うのですが、ちょっと気になるのは楠風館あたり、今までは子育て支援サービス「リュッケ」などがありますが、今回、庁舎に集合するというのは悪くはないんですが、駐車場から2階、3階に上がる必要があって、楠風館の方が子育て支援サービスに向いているのではないかと思います。2階、3階に上がることになったら、駐車場のあたりからいろいろやらないといけないですから、もっと自由に使えるところであれば、楠風館1階がいいです。広さがありますし、もっと色々な活動も出来ますので、そういう視点であれば子育て支援とかそっちに持っていけば便利じゃないかと思うところです。建物の仕組み・大きさ・広さとか、駐車場との関係性を考えたら、小中学校の居場所などはこっちでもいいですが、子育て支援、小っちゃい子どもというのは上にあげるといよりも1階のフロアの中で広く使った方が有効に活用できるのかなと思います。</p>
委員長	<p>使い勝手ということですね。一応、論理的に考えるというの中でやはりそういった意見があつてよろしいかと思えます。1階にあつたらものすごく使い勝手がいいと思います。前回の委員会まではこの庁舎だけの配置だったと思うんですが、今回は広域的に「前の施設も活用しましょう」と考える時に「こういった配置もできますよ」、本当に原案ですので、今のお話も含めたところで、単純な話ですが、貴重な話ではあると思うんですね。全体にあつた配置で考えると、「これはもっと入るんじゃないか」「面積これは本当にはいるの」という話が出てきます。イメージは皆様の中にある程度できているのではないかと思います。</p>
委員	<p>今委員の話があつたんですが、結局塩田庁舎が空きますので、そこに持って行って、賑わいづくりも大事なんですが、公民館のところまで考えて、他のところもありますので、「あそこもいいよね」「あそこが現実的に」のであれば、そういう考えの方が良いんじゃないかと私は思います。</p>
委員長	<p>おっしゃったように、使い慣れている所はありますし、そういったところの機能を上げたい、利便性を改善したいなど、そういったところを踏まえて、い</p>

	<p>ろいろ考えていいと思いますので、今の形でどんどんご意見を出してもよろしいと思いますので、先ほどの口頭の説明にありましたように、今ないから「こういうものが欲しい」「このスペースをうまく活用していく」「このサービスを向上するにはこうして欲しい」、そういったところを踏まえて、議論して頂きたいです。やはり、せっかく庁舎が利用できますから、どちらかという予想外のものも新しく考えようと思うんです。佐賀県の唯一の施設とか、それも難しければ嬉野にないですが塩田にあるもの、シンボリックなものができるかもしれない。そういう考えも含めて議論して頂きたいと思います。だいぶ頭の中にイメージが出来ていると思いますので、この庁舎をどうやって活用していくかを考えなければならないんです。</p>
委員	<p>保健センターのことが出て、包括支援センター、もともと「リュック」はここに入る予定なんです。保健センターに検診がありますので、楠風館に落ち着いているという状況なんです。もともと「リュック」はここに、子育て世代包括支援センターということで、部屋が空いていないということですから楠風館に持って行ったということですが…</p>
委員長	<p>そういった諸事情も踏まえて、特にどんどん社会も動いていますので、ウイルスや自然災害なども増えていますのでスペースを広く取りたいなど、どんどんそういった意見を出して頂いて、それを踏まえて検討していきたいと思います。では、3番目の本事業の実現化に向けた事業手法について事務局に説明をお願いします。</p> <p style="text-align: center;">【事務局による説明】</p>
委員長	<p>只今事務局の説明に対してご意見等があればよろしくお願いします。</p>
委員	<p>こども未来センターなどは子どものために建設されるものですので、高齢者の場合はどうなんでしょうか。未来の子どものためにそれを建てるのですが、高齢者を入れているんですか。</p>
事務局	<p>いいと思います。</p>
委員	<p>高齢者、子どもが一緒に、そうであれば、高齢者も喜んでくると思います。高齢者だけだとおしゃべりしかなないので、孫、子どもたちも入れたら高齢者も元気になると思います。今回はちょっと子どもだけの事例になっていますが…</p>
事務局	<p>高齢者の事例も探します。今回の話は例えば性能発注方式となれば、次のステップだとどういう性能発注方式するのかという議論を進めていきますので、そのなかで高齢者のことであるとか、そういうことも含めてまとめていくのであれば…</p>
委員	<p>障がい者もいらっしゃるんですね。子どもための話し合いの場、そういう場があれば障がい者・高齢者・子ども、みんなが楽しく使えるような場所にもなれます。ちょっと今回は子どもだけの施設の紹介だったので…</p>
委員長	<p>事務局に一つの提案として、例えば基本計画を立てまじょうと、皆様の合意を得ようと思うんですが、例えば部屋が何平米が必要とか、「こういうものが欲しいよね」というのがなかなか実現化するのが難しい時に、先ほど委員のおっしゃったように、例えば「高齢者が使える場所が欲しい」とか「障がいの方が使えるようなスペースが欲しい」そういったところは性能発注方式では言えると思います。逆に言うところの基本計画の着地点については皆様はどう思うのかというのを一旦置いて、「こういうものが欲しい」のをシンプルに発注の言葉に書き換えればと思いますので、たまたまこのこども未来センターの面積は庁舎とほぼ同じで、3層・4層ぐらいで、この例を通してDBOという発注でこのようなものが出来るというのを皆様にイメージしやすいのかなと思います。ただ、どんどん「これを見て」「こういうのもある」「これも欲しい」と</p>

	なるから、最初から申しましたように、佐賀県唯一の施設とかを考えて、先ほどの南幌町の事例のように、人口8,000人の町に利用者数10万人を突破した施設となって、まちづくりというか、そういったものに繋がる可能性も含めて検討して頂きたいんです。あと30分ありますので、ゆっくり考えて頂きたいです。ぜひ、考えて頂ければと思います。
事務局	「はれっば」も900㎡ぐらいなんです。交流ゾーンを除けばもうちょっと狭いので、木育ゾーンやアクティブゾーンなどそういう運動施設だったらこのワンフロアに納めるぐらいの大きさであります。
委員	事例は新たな建物ですか？
事務局	はい。新たな建物です。
委員	3番だけが改修ですか。
事務局	3番は改修です。
委員	高齢者が多いので、高齢者のところにするのが当たり前だと思って、どっちらかという高齢者なんです。子育ての方は大体行事とか、遊ばせるとか、高齢者の方が多様性でしょう。元気にいられるために、動かして、なんか連れて行ってあげればなんかできるとか、そういう高齢者向けは一言で何をどんなふうにするのか大事だろうなと思うところですね。元気に動ける人は良いんですが、そうではない人向けの場所とか、デイサービスとか事務所もそうなんです。場所と施設も色々絞らないといけないんです。子どもの方はそうではなくて、連れてきて、同じことをみんなするわけですから、難しいだろうなと思います。
事務局	施設の事例として、デイサービスのスペースと子育てのスペースの間に交流スペースを挟んで、一緒に配置して、時間を決めて、交流の場を作れる事例がありました。
委員	生活習慣プラス社会との繋がりというのは認知症の予防として可能な方法だと言われていますね。ですから、そのような場所が出来たらすごくいいことだと思います。エレベーターを付ければ2階・3階でもいいのかなと、状況的に1階が一番いいのかなと思いつつ。ただ機能が1階に集中したらまた色々出来なくなるから、エレベーターなのかエスカレーターなのか、施設的な問題をいろいろ考えなければならぬところです。
委員	今の小学校はコミュニティ・スクールということで、地域との連携が大事にされているんです。一年生から学年が上がると団子を作ったり、稲束を…色々ですね。結局あそこにいるのは老人たち、わたしたちですね。やはりそういうスペースが欲しいですね。実はわたしは子どもの囲碁教室で囲碁を教えています。月2回。こういうのはやはり楽しいですので、庁舎に入るか、楠風館に入るかわからないんですが…
委員長	まさに、皆様が誠心誠意で、繋がるという言葉って言いますか、単純に高齢者と子育てのスペースを作りなさいと伝えて、そうするとバリアフリーとユニバーサルデザインもついてきて、それが性能発注方式の中のアイデアになります。今までこれらはかなりリンクしていました。次は行政機能とかがあって、配置に反映されると思います。機能について今はどんどん言って頂いて…
委員	4ページですが、基本計画・基本構想があって、基本計画のところの4番「新庁舎と連携した提供サービスの確認」ですが、これはまだ検討中なんですか。方向性がまだ決まっていなくて気になったのですが。
委員長	事務局、新庁舎との連携ということの説明をお願いします。

事務局	<p>4番の新庁舎との連携した提供サービスの確認なんですが、現在の部分については今までと同様になるという部分を含めて、新庁舎の窓口の機能を検討しないといけないというところです。そういった部分の検討を今しておりますので、塩田も嬉野も同じような形で窓口の対応をしていきたいと思います。</p>
委員	<p>窓口はないんでしょう。</p>
事務局	<p>窓口は今まで一番初めの議論のように、塩田庁舎のここに同じような行政サービスを受けるということを考えています。今は嬉野庁舎も今まで同じような窓口サービスではなくて、新しく、市民の皆様の利便性を上げていく検討しているわけです。そういったところを含めて、窓口のサービスを考えているというところです。塩田も同じような形で受けれるようなことで、サービスを総合的に考えていますので、窓口の在り方はそちらの方で進めています。そこはまた新庁舎の検討を含めてご提供させて頂きたいと思います。どうしても、新庁舎は出来る限り計画をもって検討しているんですが、塩田地区の方も同じようなサービスを受けられるために時間をかけてもいいのではないかと思います。そこは議論を大事にしたいと思います。窓口自体は、新庁舎とともに、ある程度の予定をしながら作ると、構築するというふうな感じですので、そこはまたまとめようと思っています。</p>
委員	<p>やはり、窓口になにが残っているのかについて関心が高いですよ。</p>
委員	<p>今言われたように、私たちがこういう会議でいろいろ話をしようとしても、市民に伝わりにくい部分があるんですよね。それから塩田は塩田、嬉野は嬉野で、嬉野市になっていても、皆さんの頭には、やっぱり交通が不便というのは大きなネックになっています。今言われたことについて、この会議でこんな話をしようというのが見えません。言おうとしてもやっぱり、他人事のように思われている部分がありますね。今の時代でこそ、メディアを使うのが一つの手で、それともう一つの視点が「はれば」というのが地域の人ばかりではなくて、他の地方からも来てくれるような遊具施設を作ることです。今はメディアの時代ですから調べて遊びに来るといったケースが多いと思います。塩田町民以外でもたくさんの方がここに集まれるような施設で考えたら、工夫次第なのかなと思います。ネットにいろんなところの動画があって、「ああ、あの地方にはこんなものもあるのかな」と自分たちと住んでいる地区だけではなくて、いろんなところに行っているんです。そういう意味では、若い人の関心も庁舎の利活用につながっているような気がします。以上です。</p>
委員長	<p>事務局の方この会議をお伝えするかどうかについてはどうでしょうか。</p>
事務局	<p>内容について、皆様が知れるような形で、ホームページ上では中身、会議の流れ、資料の方も添付してありますので、知れる状況ではあります。</p>
委員長	<p>ホームページで公開されているそうですので…</p>
委員	<p>何人がホームページを見ているかというのもあって、見る人がそこまで関心があるかはまた別なので、最後の段階でいいですから、こういう形でお伝えしましょう。映像で知らせるべきかなとわたしは思います。ホームページじゃなくて、一般的な公開の方法としては、やっぱり考えるべきじゃないかと思います。</p>
事務局	<p>この委員会の模様はなかなか難しいですので、提案した中身が決まった、ここで承認されたものについては出せるかもしれません。最後にまとまっている部分の公表は検討できるのではないかと考えています。</p>
委員長	<p>提案の形についてですが、「性能発注方式」というのを今後の議論の中で引き続きやっていくというのはどうですか。皆様もイメージしやすいのかなと思いますので、今回様々な配置がありますが、前回の施設の中のものも、そういったものを含めて皆様の要望を言って頂きます。今のうちに言うことはもう言</p>

	<p>い尽くしたというぐらい言っていたらと思っと思っています。さっきから、福祉も高齢者などが障がい者と、動けなくなった方とまだまだ活発になっているという人、どれを対応するか、逆に全部対応するにはどうしたらいいとか、そういう視点で考えて頂くと、いろいろな要望事項が出てくると思っいます。補助金など、手段として使えるような施設にするというのがどうしたらいいかも検討して頂きたいです。「今やっていますが、これだったらいいな」というのが一番分かりやすいと思っいます。先ほどの事務局から議論をして欲しいというこトですが、とにかくいろんな議論をお願いします。</p> <p>今日のお話には具体的な事例もあつたので、子育てではありますけれども、同じような延床面積に、「こういっことを常に成功していますよ」とか、「小さい町でも自慢するような施設になっていますよ」とか、いろんな塩田庁舎を利活用するにあたっては参考になるようなものがあつたのかなと思っいますので、一回ちょっと考えて頂いて、今、出るものを出して頂きたいと思っいますので、議論が大事だということは、それから、年を明けますので、ゆっくりいろんなものを見て頂いて、感じて頂いて、それこそ近隣の住民の方にもお話して頂いて、「あなたとしてはどうしたいですか」みたいな感じで検討して頂ければと思っいます。PPPですとか、いろんなものが出てきていますけれども、いわゆるやろうとした時に、今までは行政の予算改善の中では難しかったこトも、民間の力と皆さんの要望で、「いろんなやり方がありますよ」ということを認識して頂いていいじゃないかと思っいます。「塩田庁舎が嬉野市の唯一の施設をもっています」のようなものができればと思っいます。</p>
委員	<p>現在、大集会室はあるんですが、今度はリバティになるのではないですか。現在の大集会室の活動について、リバティを使ってくださいになるのか、平屋を作ってあそこでやるのか、どうでしょうか。</p>
事務局	<p>本日の資料の中にはないんですが、大集会室で行う活動について整理をしています。そうではないということであれば、庁舎なのか、別のところなのか、そういう広い空間を作らないといけないとなれば、事務局としては今、大集会室でされている機能についてはリバティとか、他のところとかで行う可能性について整理しています。</p>
委員長	<p>そういうところを整理して、可能であれば工夫して「他の施設を使いましょう」もありですので、そういうところも考えて頂ければと思っいます。</p>
委員	<p>リバティに会議室があるのか。</p>
委員	<p>会議室はないんでしょう。</p>
事務局	<p>サブアリーナでしたら…</p>
委員	<p>サブアリーナとなつたら、敷物について…土足で入れないんですから。シートを使わないといけないでしょう。そこら辺の利便性の問題と利用料金の問題もありますね。</p>
事務局	<p>そういっところはこれからの検討内容になります。</p>
委員長	<p>まだ意見のある方？</p>
委員	<p>私は発注方式について質問がありますが、性能発注方式で近隣市町の中で発注したところがありますか。</p>
事務局	<p>「みんなの広場」がそうかもしれません。江北町の広場です。</p>
委員	<p>発注側の意見が通るのかな、通させてもらえるのかな、ちょっと心配があります。思っ構想はダウンしてしまうんじゃないかなと気になります。従来方式の方が良いということではなく、心配なんです。</p>

事務局	性能発注方式になった場合、恐らくプロポーザルになります。任意の中で、事業要求が設けられて、満たさないと採用されないということがあると思います
委員	プロポーザル方式ですかね。
事務局	大体プロポーザル方式になるかと思います。絶対に譲れない部分、例えば先ほど言った庁舎の窓口では、例えば200㎡、300㎡、そこを絶対確保して、こういうサービスをしてもらってくださいと、そこも発注の仕方です絶対という縛りをかけて、「ここは絶対ですよ」と細かく設定する場合と、先ほど言われたように自由度を持たせて発注をかけるというところはあります。
事務局	少し民間事業者とも直接ヒアリングをしますので、こういった形であれば取り組みやすいとか、そういったところの情報を把握する予定にしています。
委員	中央公民館は塩田の中で一番活用されているところだと思いますので、活動部屋の中に絶対確保しないといけない部屋は何部屋ぐらいあるのかなど。それによって、今、子どもの部屋とか、高齢者の方の部屋とかも含むだろうと思います。今、塩田にとって一番動いているところは、確保しないといけないと思いますので、活動部屋数がどれくらい要るのかなど議題に入るんじゃないかと思います。
事務局	部屋数、稼働については、部屋数の割り当てではなくて、前回の委員会で塩田図書館、公民館の面積をカバーできるというような検討をしていますので、今の活動の部分は賄えると思います。楠風館の方に市民活動の一部も入っているということで賄えると思います。楠風館の利用形態は似ているので、サークル活動は楠風館にされていることもありますので、部屋の大きさなどが合致すれば、再編に踏まえて、楠風館の利用もできると思います。
委員長	そろそろ時間ですが、まだご意見等があればよろしくお願いします。
委員	質問なんですけど、塩田庁舎に4階の部分もあるんですけど、あそこを利活用するとして、あそこ何平米がありますか。
事務局	242㎡と234㎡ということです。
委員長	意見がなければ、事務局の方に戻したいと思います。次回の案内をよろしくお願いします。
事務局	その前に少しお話があるのですが、今回ご提示したことについてはこれまで皆様から頂いたご意見をまとめて、事務局側としての考察と考えを入れて、「こういう風にしてはどうか」というものをご提示しております。これをベースに「いやいや、これにしたほうがいい」という話し合いをしつつ、ある程度のゾーニングをしていきたいと思っています。何かを確保するかというのがポイントになると思います。そういったところを含めて「従来方式」と「性能発注方式」という方式があって、事務局としては、基本構想の中に「賑わい創出」というのがありますが、そこが自治体の弱いところだと思います。それも含めて、運用については民間に担って頂いた方が効果的ではないかとご提示しているところです。しかしながら、委員の皆様の中で、「いやいや、そうではない」「千代田みたいに行政機能の集約の方が効果的」そういったお話を頂くことによって進め方が変わってきます。「従来方式」では、具体的に部屋の広さとかをしっかりと決めて行かないといけないんですが、方向性がかなり変わってきます。しかしながら、「従来方式」と「性能発注方式」の合わせ技の形が可能だと思います。「3階は部屋にしようか」とか、「1階・2階は性能発注方式」、さまざまな考え方がありますので、そのあたりもご検討頂きながら進めようと思っています。 今回はちょっと子育て施設の事例を出しているんですけど、「こういった進め方がありますよ」ということですので、これに拘らなくてもいいと思います。

		<p>高齢者の方を中心にやっていった方が良いのではないかというのも議論によって変わります。ソフト面も大事ですね。こういうスペースがあって、そこで何かをすることによって新たな賑わいも生まれるということもありますので、そういったものも含めて次回も議論して頂きたいと思います。</p> <p>事務局 次回の日程はまだ決めておりませんので、決まり次第またお伝えしたいと思います。</p> <p>委員長 それでは、本日の協議事項が終了しましたので、これを持ちまして、第12回塩田庁舎等利活用検討委員会を閉会致します。ご出席の皆様、大変お疲れ様でした。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
--	--	---